

赤十字おかやま

NO.
29

Okayama Chapter



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

岡山県支部の国際活動について

知っていますか？



職員をインドネシア、バングラデシュへ派遣しました

岡山県支部の国際活動について知っていますか？

日本赤十字社では、世界中の災害や紛争、病気などに苦しむ人々を救うため、「国際活動」にも取り組んでいます。

岡山県支部では、本社が中心となり進める事業を支援しており、このたび職員をインドネシア、バングラデシュに派遣しました。2名の帰国後、詳しい活動内容についてお話を聞きました。



事業推進課
吉田 健志 主事

Indonesia

災害多発国であるインドネシアにおいて、インドネシア赤十字社とともに地域住民の災害対応能力を高める取り組みを進めています。今回、現地の状況や課題の確認に加え、日本赤十字社が持つ知見を共有するため、現地を訪問しました。

Q1. 日本赤十字社の活動が現地の支援になっていると実感したエピソードは？

防災ボランティア養成研修に参加していた村人は、「自分の村では対策が何もできていないので、村に帰って研修で学んだことを伝えるのが今から楽しみだ」とおっしゃっていました。意欲的なボランティアから他の村人へと防災意識がつながっていくことを感じました。



Q2. 難しいと感じた点は？

現地の人と意見交換をした際、全員が非常持ち出し品などを準備していなかったこと、避難場所まで行つ

たことのある人がいなかったことなど、日本と比べると防災意識はまだ低いと感じました。ただ、学びたいという意欲がとても高いと感じたので、この事業が防災意識を高めるきっかけになると思いました。



Q3. 派遣を通じて事業に対する思いは変わった？

インドネシアは私が思っている以上に災害が身近にある地域なのだと実感しました。災害多発国であることや住民の防災意識が低いこと、インフラ等の整備が十分でないことからも、この事業の推進はとても意味のあることだと感じました。



総務課
岩間 梨乃 主事

Bangladesh

災害が多発するアジア・大洋州地域の各国赤十字社に対し、災害時の安全な飲み水の確保や衛生環境の改善を目的に、資機材の整備や人材育成の支援を行っています。今回は支援国のひとつであるバングラデシュを訪問し、事業の成果を確認しました。



Q1. 印象に残っているエピソードは？

ボランティア向けの研修を見学する機会がありました。受講者の議論は白熱し、各々が強い思いを持って活動している様子が伝わってきました。また、学生ボランティアが迷いなく浄水装置を組み立てる姿も見ることができ、現地の災害対応能力の向上を実感しました。



Q2. 現地での学びはあった？

報告書で事業概要は把握していましたが、活字では感じ取れない現地の困難な状況や人々の価値観に触れられたのが大きな学びでした。特に水の確保については、資源が限られる中では飲み水の確保が精一杯で、日本のように衛生や生活面まで幅広くカバーできない現実を、現地の声を通じて深く理解することができました。



Q3. 今後の課題だと感じたことは？

バングラデシュのように、インフラが不十分で災害が頻発する地域では、災害時の緊急対応に加え、平時からの継続的な教育や啓発活動が不可欠です。また、こうした支援が必要な国は他にも多く、各国のニーズに応じた柔軟な支援が必要です。引き続き協力を深めつつ、視野を広げた支援が必要だと感じました。

5月は赤十字運動月間

5月8日は赤十字の創始者アンリー・デュナンの誕生日。また5月1日は日本赤十字社の前身「博愛社」の創設日です。赤十字にとって非常に関わりの深い5月を「赤十字運動月間」として、活動に対するご理解とご支援を呼びかけるさまざまな啓発活動を行っています。

「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という日本赤十字社の使命を果たすため、私たちはこれからもさまざまな活動に取り組んでまいります。

■赤十字運動月間特設Webサイト

<https://www.jrc.or.jp/lp/save365/>



赤十字は、動いてる！



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

活動資金 皆さまからの活動資金により日本赤十字社は救護活動等を実施しています。

災害救護活動

災害から命を守るために



ボランティアや青少年の育成

思いやり、助け合い、尊重し合うために



救急法等の講習普及促進

病気やけがに備えるために



地域の赤十字活動

奉仕団主体の活動支援のために



国際活動や本社で行う事業

世界中の人道危機に支援を届けるために



献血や社会福祉活動

献血の啓発活動や地域福祉のために



日本赤十字社 岡山県支部
Japanese Red Cross Society

T700-0823 岡山市北区丸の内二丁目7番20号
TEL 086-221-9595 <https://www.jrc.or.jp/chapter/okayama/>